

報道関係者 各位

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国児童養護施設協議会

**「明日、ママがいない」の放送内容について
児童養護施設で生活する子どもたちを傷つけ、
誤解や偏見を生むことを、私たちは強く危惧しています。**

1月15日、日本テレビ系列で、ドラマ「明日、ママがいない」が放映されました。

ドラマの舞台は、「児童養護施設」となっていますが、その内容は、実際の児童養護施設とはかけ離れています。たとえそれがフィクションであったとしても、登場人物の行動や言動は、現に児童養護施設で暮らす子どもたちを冒瀆し、虐待等で深く傷ついた彼らの心を、更に傷つけるものです。また、施設で献身的に働く職員をも冒瀆し、その働く意欲を削ぐものです。

同時に、このドラマがきっかけとなり、子どもたちやそこで働く職員等に対する、社会の誤解や偏見を生むのではないかと、強く危惧しています。

私たちは、このドラマの舞台と思われる「地域小規模児童養護施設(定員6名まで)」や、本体施設の「小規模グループケア(同8名まで)」を普及させ、施設の家庭的養護促進と共に里親制度の促進を図り、施設と里親とが協働して、保護が必要な子どもたちの人権を守り、人間の尊厳を培う場とすべく努力しています。

子どもたちの人権を侵害するような表現、シーン・セリフ、内容について、私たちは日本テレビ放送網株式会社に対し、別紙により強く抗議いたしました。

関係各位におかれましては、子どもたちと児童養護施設への正しいご理解をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

■子どもたちを動物扱いすることは許されません。

「お前らはペットショップの犬と同じだ。」「犬だって、お手ぐらいの芸はできる。」

⇒施設の子どもたちを、動物にたとえるような発言は、絶対に認められません。

⇒施設長や職員が、こうした暴言を子どもたちに言うことは、決してありません。

■施設長や職員が、暴力や暴言で子どもたちの恐怖心を煽り、支配・従属させることはありません。子どもへの暴力は、私たちが目指している養育の在り方を真っ向から否定するものであり、容認できません。

子どもたちにバケツを持たせて立たせる。

「先に手を出したのはどっちだ」と言って平手打ちする。

⇒いかなる理由があっても、児童養護施設の施設長や職員が、子どもたちに暴力を加えたりすることは認められません。

〔お問合せ先〕

全国児童養護施設協議会・事務局

TEL.03-3581-6503

E-mail.z-jidoyogo@shakyo.or.jp